



SaaS on AWS 2023

アジェンダ – 概要

SaaS on AWS 2023 - Day1 (SaaS Business)

	会場1 (オンライン配信あり)
13:00 - 13:10	開会のご挨拶 AWS
13:15 - 13:45	2023年の SaaS トレンド : マクロ環境の冬とプロダクトの春 ALL STAR SAAS FUND 様
14:00 - 14:25	【SaaS×AI】SaaS ビジネスにおける生成 AI 活用の可能性 株式会社SaaSis 様
14:30 - 14:45	AWS のデータ活用と生成系 AI 成功につながるベストプラクティス AWS
14:45 - 15:15	ネットワーキング with コーヒー
15:15 - 15:35	『X-point』のクラウド版へ一本化を決断！ワークフローのリーディングカンパニーが選択した方針とは？ 株式会社エイトレッド 様
15:40 - 16:00	エンタープライズ向け PoC で爆速かつ堅牢なプロダクト開発を実現する5つの工夫 株式会社アルファドライブ 様
16:15 - 16:35	クラウドバックアップサービスからインテリジェントな DX ソリューションへの展開 AOSデータ株式会社 様
16:40 - 17:00	Product-Led Growth とは便益を享受する顧客が自然に増えていくこと Chatwork株式会社 様
17:15 - 17:35	ランサムウェア被害からのスピード復活！ 自社 IDC オンプレから AWS への道・・・ 株式会社エムケイシステム 様
17:40 - 18:00	2大事業のクラウドシフトと共に AWS との共同マーケティング成功の3年の軌跡 ウイングアーク1st株式会社 様

SaaS on AWS 2023 - Day2 (SaaS Technology)

	会場1 (オンライン配信あり)	会場2 (オンライン配信なし)
13:00 - 13:20	Generative AI on AWS (L200) AWS	サーバーレスキャッシュ+α、Momento とは ~キャッシュを超えてアプリケーションを最適化~ (L100-200) Momento Inc. 様
13:25 - 13:45	生成 AI の社会実装とその未来 (L100-200) 株式会社 PKSHA Technology 様	SaaS パーティショニングモデル NoSQL の選択とテナント分離の考え方(L300) AWS
14:00 - 14:20	SaaS 事業者へセキュリティのベストプラクティスを発信 (L200-400) 株式会社ウィル・ドゥ 様	Amazon QuickSight で実現するマルチテナント BI (L200-300) AWS
14:25 - 14:45	API の未知の脆弱性をつく攻撃を検知する engine を作る (L200) freee株式会社 様	Rosic と Amazon QuickSight で経営 DX、新たな価値創造を実現~ SaaS 組込み型での Amazon QuickSight 活用事例紹介 ~ (L200) インフォテクスコンサルティング株式会社 様
15:00 - 15:20	クラウドサービスへのビジネスモデル転換のために必要だった SaaS コントロールプレーンの実装 (L200) 株式会社ディーバ 様	Amazon CodeCatalyst で実現する SaaS 開発の加速 (L100) AWS
15:25 - 15:45	CloudNative 移行で実現した Mackerel における SaaS 開発 (L300) 株式会社はてな 様	Amazon CodeCatalyst への移行をやってみて感じた、現在の課題と将来の期待 (L200) ユニークビジョン株式会社 様
15:45 - 16:15	ネットワーキング with コーヒー	
16:15 - 16:35	名刺管理ツール「SKYPCE」を半年でSaaS化できたノウハウを紹介！ (L200-L400) Sky株式会社 様	SaaS 企業 CTO の LT 祭り テーマ「開発組織のカルチャー」 株式会社アルファドライブ 様 株式会社カオナビ 様
16:40 - 17:00	大手法人向けマルチテナント SaaS におけるセキュリティ実装をご紹介 (L200-L400) 株式会社Works Human Intelligence 様	バイオニア株式会社 様 弥生株式会社 様
17:15 - 17:35	Amazon Aurora MySQL と Amazon Redshift の zero-ETL 統合でデータ分析を加速しよう！ (L200-L300) AWS	SaaS 企業 CTO の パネルディスカッション テーマ「開発組織のカルチャー」 株式会社アルファドライブ 様 株式会社カオナビ 様
17:40 - 18:00	SaaS 事業立ち上げの為に Day1 からのデータ基盤拡張戦略 (L200-L300) マネーフォワード i 株式会社 様	バイオニア株式会社 様 弥生株式会社 様



SaaS on AWS 2023

アジェンダ – セッション詳細

SaaS on AWS 2023 - Day1 (SaaS Business)

	会場1 (オンライン配信あり)
13:00 - 13:10	開会のご挨拶 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 広域事業統括本部 ISV/SaaS営業本部 本部長 梅澤 尚史
13:15 - 13:45	2023年の SaaS トレンド：マクロ環境の冬とプロダクトの春 ALL STAR SAAS FUND Senior Partner 湊 雅之 氏 2023年は、国内外の上場・未上場のSaaS企業を取り巻くマクロ環境の厳しい状況です。しかし、一方で生成AI・大規模言語モデル(LLM)の技術進化やコンパウンド・スタートアップなど、プロダクト視点では、その進化や戦略の劇的な変化が起こっています。このセッションでは、国内外のSaaS業界における、マーケット環境の変化を振り返りつつ、国内外でのSaaSプロダクトに関するホットトピックについてご紹介いたします。
14:00 - 14:25	【SaaS×AI】SaaS ビジネスにおける生成 AI 活用の可能性 株式会社SaaSis COO 甲斐 慎之助 氏 本講演は、生成AIをSaaSに導入することによる、ビジネス的なインパクト・システム拡張性についてご紹介いたします。生成AIの概要から、具体的なSaaSビジネスとの組み合わせ事例、AWSのインフラ構成など、自社サービスへの生成AIの導入プロセスを具体的にイメージしていただけることでしょう。自社サービスへの導入を検討している経営陣の方、実務を担当するエンジニアの方、とりあえず聞きたい！という方までぜひご覧ください。
14:30 - 14:45	AWS のデータ活用と生成系 AI 成功につながるベストプラクティス アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 AI/ML 事業開発マネジャー 浅倉 靖之 AWSが提供するデータ活用と生成系AIの成功法の一例をご紹介します。カスタマイズされたソリューション構築や最新トレンドを探り、産業界での成果を最大化するベストプラクティスを提供します。
15:15 - 15:35	『X-point』のクラウド版へ一本化を決断！ワークフローのリーディングカンパニーが選択した方針とは？ 株式会社イトレッド 執行役員 事業推進部長 青木 健一 氏 国内でトップクラスのシェアを誇るワークフローシステム『X-point（エクスポイント）』と『AgileWorks（アジャイルワークス）』の開発 & 販売を手がける株式会社イトレッド。『X-point』の発売開始より迎った事業の変遷から、オンプレミス版とクラウド版で提供していたラインナップをクラウド版に一本化した理由まで。その時の背景や決断した内容を包み隠さずお話しします。
15:40 - 16:00	エンタープライズ向け PoC で爆速かつ堅牢なプロダクト開発を実現する5つの工夫 株式会社アルファドライブ プロダクト本部 エンジニア 畠山 高広 氏 私達AlphaDriveは、はたらく人の可能性を最大化し、人的資本経営を推進するマルチテナント型BtoBSaaS「AGILITA」を立ち上げ、実際にお客様に導入していただきながら開発を進めています。エンタープライズ向けだからこそ求められる堅牢性ももちろんですが、お客様や社内のコンサルから多様な意見をいただくため、高い開発速度も求められます。本セッションでは、私達がAWSを活用してどのように高速かつ堅牢なSaaS開発を実現しているのか、5つのポイントからご紹介、ご提案します。

SaaS on AWS 2023 - Day1 (SaaS Business)

	会場1 (オンライン配信あり)
16:15 - 16:35	<p>クラウドバックアップサービスからインテリジェントな DX ソリューションへの展開 AOSデータ株式会社 取締役CTO 志田 大輔 氏</p> <p>お客様の課題解決を目的にソリューションを拡大することで事業を拡大してまいりました。弊社事業はデータ復元サービスから始まりましたが、バックアップSaaSである「AOSBOX」シリーズ、セキュアなファイル共有と活用によるDXを実現するSaaSである「AOS IDX」シリーズを提供しております。さらにAIプロジェクトを成功に導くAI学習用データサービスを展開しております。Horizontal SaaS型からVertical SaaS型までどのようにソリューションを拡大してきたのか、お客様の課題解決に向けた弊社の事業拡大の取組についてお話しします。</p>
16:40 - 17:00	<p>Product-Led Growth とは便益を享受する顧客が自然に増えていくこと Chatwork株式会社 CTO室 / Director of PM 松下 三四郎 氏</p> <p>Chatworkは、Product-Led Growthを掲げ、SaaS製品でありながら顧客が顧客を招待する仕組みを持っています。その活動の中、日々数字に向き合っているからこそ、顧客を知る本質と重要性に改めて気づかされます。Growthというつい数字、さらには集客のこじこじになりがちですが、数字を上げるならまず顧客を理解する。そのために組織の枠を超えどんなプロセスを追って活動をするべきか考えます。</p>
17:15 - 17:35	<p>ランサムウェア被害からのスピード復活！ 自社 IDC オンプレから AWS への道 株式会社 エムケイシステム 代表取締役 CEO 三宅 登 氏</p> <p>2023年6月5日に発生した弊社へのランサムウェア攻撃で、データセンターの物理サーバー38台、仮想サーバー278台のすべてが、マルウェアの暗号化により壊滅的な被害を受けました。オンプレミス継続かクラウドで再構築かの大決断になりましたが、大部分のサービスを6月30日に復活できたのはAWSのおかげです。激闘の25日間をお話しします！</p>
17:40 - 18:00	<p>2大事業のクラウドシフトと共に AWS との共同マーケティング成功の3年の軌跡 ウイングアーク1 s t 株式会社 マーケティング本部 Product&Alliance部 部長 廣森 千穂 氏</p> <p>2011年にBIダッシュボード 製品MotionBoardのSaaSモデルをリリース以降次々と主力製品のクラウドシフトを進めてきました。そのクラウドビジネスの成長を支える重要なプラットフォームがAWSであり、2020年から本格的に始動したAWSとの共同マーケティング施策では、双方のフラッグシップイベントへの参加に留まらず、さまざまな販促企画や連携発表を行い、ACEの案件登録実績は国内トップレベルです。本セッションでは成功ケースだけでなく失敗例をどう次に活かしたか、業界特化連携やエバンジェリスト育成など3年間の取り組みを共有します。</p>

SaaS on AWS 2023 - Day2 (SaaS Technology)

	会場1 (オンライン配信あり)
13:00 - 13:20	Generative AI on AWS (L200) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 ISV/SaaS Dept, Sr. Solution Architect 赤澤 智信 AWS は、これまで費用対効果の高い ML 学習と推論のためのハイパフォーマンスかつスケラブルなインフラストラクチャに投資し、全ての開発者がモデル構築、学習、デプロイするための Amazon SageMaker を開発しました。AWS は、Amazon SageMaker のアップデートを含め、お客様がビジネスで Generative AI を簡単かつ実用的に使用するために、いくつかの新しいイノベーションを発表しました。本セッションでは、これらのイノベーションと、AWS 上で Generative AI を使用するためのプラクティスについてご紹介致します。
13:25 - 13:45	生成 AI の社会実装とその未来 (L100-200) 株式会社 PKSHA Technology AI SaaS開発部 エンジニアリングマネージャー 古屋 太郎 氏 生成AIの潮流は衰えず、今なお様々な活用方法や技術は乱立しています。そのような潮流の中、ソフトウェア/SaaS事業者にとって重要な課題は、自社プロダクトにどのような形で/どういった技術を活用し生成AIを組み込むのかということだと思います。本セッションでは、AWS上で運用しているPKSHA Chatbotとともに動作するAI SaaSプロダクトへの生成AIの実装事例と、Amazon OpenSearch Serviceを活用したテキスト検索事例、これからの生成AI技術との向き合い方についてお話します。
14:00 - 14:20	SaaS 事業者へセキュリティのベストプラクティスを発信 (L200-400) 株式会社ウィル・ドウ 取締役 最高技術責任者 (CTO) 三宅 雄也 氏 昨今サイバー攻撃が高度化しその対策はクラウド環境で稼働する SaaS においても強く求められています。弊社はエステティック業界のノウハウを活用した電子契約書作成管理クラウドサービス「けいやくん」を含む複数のクラウドサービスを AWS を用いて提供しています。本セッションでは、弊社サービスをよりセキュアに提供するために実施した、AWS セキュリティリファレンスアーキテクチャ (AWS SRA) に沿ったマルチアカウント環境の工夫をお伝えします。
14:25 - 14:45	API の未知の脆弱性をつく攻撃を検知する engine を作る (L200) freee株式会社 PSIRT 杉浦 英史 氏 freee PSIRTでは、さまざまなログをSIEMに収集し、そこから異常を検知し対処する運用を行なっています。トリアージ自動化によってほぼ全てのログを精査していますが、それでも、APIへの攻撃の検知は非常に難しいことが、わかってきました。そこで、APIの未知の脆弱性を突く攻撃を機械学習によって検知する検知engineの実装をAmazon SageMakerやAmazon Fraud Detectorを用いて行いました。本sessionでは、ログ分析を行う基盤を構築し運用を回せるようになった後、その限界を知り、自分達で検知engineを作った経験を話します。
15:00 - 15:20	クラウドサービスへのビジネスモデル転換のために必要だった SaaS コントロールプレーンの実装(L200) 株式会社ディーバ プロダクト開発本部 技術開発統括部 統括部長 鈴木 亮 氏 エンタープライズアプリケーションにおいて認証機構は非機能要件に位置付けられていますが、実際のところはユーザーとの細かな要件定義が発生する重要な業務機能として扱うことが多々あります。株式会社ディーバでは連結会計や連結決算の会計業務を支える「DivaSystem LCA」を提供していますが、オンプレミス型のアプリケーションという構成をスタートとして、どのようにクラウドサービスとしてアプリケーションを変化させたのか、その際になぜ認証機構をコントロールプレーンとして切り出していったのかについてご紹介致します。

SaaS on AWS 2023 - Day2 (SaaS Technology)

	会場1 (オンライン配信あり)
15:25 - 15:45	<p>CloudNative 移行で実現した Mackerel における SaaS 開発 (L300) 株式会社はてな テクノロジーソリューション本部第1グループMackerel開発チーム 井口 景子 氏</p> <p>株式会社はてなが開発する国産サーバー監視 SaaS である Mackerel では、自社のサービス運用基盤をMackerelで運用し、そのノウハウを詰め込むことでクラウド監視に必要な機能を提供し続けています。Mackerel の運用にあたっては、メール等外部への通知や課金集計など、様々なバッチ処理を実行する必要があります。本セッションでは、このバッチ処理をどのようにクラウドネイティブなアーキテクチャへ移行し運用しているかについてお話しします。</p>
16:15 - 16:35	<p>名刺管理ツール「SKYPCE」を半年でSaaS化できたノウハウを紹介！ (L200-L400) Sky株式会社 ICTソリューション事業部 開発部 開発課 技術課長 野原 元気 氏</p> <p>2022年1月にリリースした営業支援・名刺管理ソフトウェア「SKYPCE」はオンプレミスのサーバーに構築する事を前提としたパッケージ版のみを提供していましたが、お客様からのSaaS需要が高まったことでSaaS版も提供メニューに加えることとなり、検討開始から6ヶ月でSaaS版(マルチテナント)のリリースを実現しました。リリース期日や既存パッケージ版の設計など様々な課題がある中で「6ヶ月でSaaS化をどのように実現したのか？」「SaaS版とパッケージ版を並行した開発をどのように実現しているのか？」についてお話しさせていただきます。</p>
16:40 - 17:00	<p>大手法人向けマルチテナント SaaS におけるセキュリティ実装をご紹介 (L200-L400) 株式会社Works Human Intelligence Product Div. Advanced Technology Dept. MKS Dev & LOS Core Grp. / Manager 木谷 明人 氏</p> <p>弊社が提供している大手法人向け統合人事システム「COMPANY」は日本の大手約1,200法人グループに導入頂いており、管理する人事データ数は490万にのぼります。弊社では「COMPANY」と連携可能なマルチテナントSaaSも複数提供しており、これらも多数の大手法人グループに導入頂いております。本セッションでは弊社のマルチテナントSaaSで実装されている「Amazon Cognitoを利用した複雑な業務要件に対応する認証認可の仕組み」「AWS KMSを利用した高度なセキュリティが求められるマイナンバーを扱うための暗号化の仕組み」などについてご紹介いたします。</p>
17:15 - 17:35	<p>Amazon Aurora MySQL と Amazon Redshift の zero-ETL 統合でデータ分析を加速しよう！ (L200-L300) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 シニア ソリューションアーキテクト 藤原 吉規</p> <p>zero-ETL 統合により、Aurora MySQL に書き込まれたデータが数秒以内に Amazon Redshift で利用できるようになるため、複雑なデータパイプラインを構築したり管理したりせずに、データをすばやく処理できます。また、複数の Amazon Aurora クラスターのデータをひとつの Amazon Redshift クラスターに集約して分析できるため、複数のアプリや組織のデータから包括的なインサイトを入手することができます。本セッションでは、zero-ETL 統合の概要や活用方法についてご紹介いたします。</p>
17:40 - 18:00	<p>SaaS 事業立ち上げの為に Day1 からのデータ基盤拡張戦略 (L200-L300) マネーフォワード i 株式会社 Chief Product Officer 村上 勝俊 氏</p> <p>SaaS事業立ち上げ時は、ビジネスKPIのタイムリーな確認、ユーザーズの把握と迅速な機能反映のためにデータ分析が非常に重要です。マネーフォワード i のAdmina製品でも Day 1 から始まった意思決定のためのデータ基盤を運営していますが、立ち上げフェーズではデータ基盤に潤沢に人員とコストをかけるのが難しい現状もあります。このセッションでは、元シニア・インフラエンジニアであり現CPOが、Amazon Aurora, Amazon Redshift Serverless, Amazon QuickSightなどを活用して、意思決定に使えるデータ基盤をミニマムから徐々に大きくする拡張戦略とそれを実現する技術スタックについてご紹介いたします</p>

SaaS on AWS 2023 - Day2 (SaaS Technology)

	会場2 (オンライン配信なし)
13:00 - 13:20	<p>サーバーレスキャッシュ+α、Momento とは ～キャッシュを超えてアプリケーションを最適化～ (L100-200) Momento Inc. CEO室室長 サーブ 恵里花 氏</p> <p>このセッションでは、Momentoを全角度から知っていただけるよう、会社概要に始まりサーバーレスのメリットや弊社が掲げるサーバーレスの原則そしてMomento Cacheを最大限に活用する方法をお話いたします。加えて、+αの機能やMomentoの特徴を紹介させていただきます。Momentoが簡素化、可用性、パフォーマンス、安定性など、あらゆる面で頼れるリソースである理由もお話しさせていただきます。Momentoって何？を様々な面からアプローチしていきます！</p>
13:25 - 13:45	<p>SaaS パーティショニングモデル NoSQL の選択とテナント分離の考え方(L300) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 データ事業本部 ポートフォリオスペシャリストソリューション部 データベーススペシャリストソリューションアーキテクト 藤田 将大</p> <p>SaaSにおいて、テナント分離戦略は重要な要素です。本セッションでは、データベースにおける、テナント分離の考え方から、RDBMSとNoSQLなど、データベース選定がテナント分離戦略に与える影響を紹介いたします。</p>
14:00 - 14:20	<p>Amazon QuickSight で実現するマルチテナント BI (L200-300) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 Solutions Architect 高橋 佑里子</p> <p>BI ツールである Amazon QuickSight を SaaS に埋め込むことで、最小限の実装コストでエンドユーザーがダッシュボードを閲覧する機能、分析を作成する機能を提供することができます。本セッションでは、SaaS に Amazon QuickSight を埋め込むユースケース別のアクセス管理方法や、埋め込み時に活用できる機能をご紹介します。</p>
14:25 - 14:45	<p>Rosic と Amazon QuickSight で経営 DX、新たな価値創造を実現～ SaaS 組込み型での Amazon QuickSight 活用事例紹介 ～ (L200) インフォテクスコンサルティング株式会社 取締役・プロダクト事業統括 斉藤 由美 氏</p> <p>Rosic Cloud Serviceは、会計、業績、人材、プロジェクト等の情報を1つの基盤上に統合し、経営の重要な意思決定につながる可視化・分析を支援するツールです。多様で大量のデータを適切に格納、抽出できるRosicにAmazon QuickSight を組み込むことで、データ活用の質を飛躍的に高めることができ、エンタープライズ企業の経営情報統合インフラとして、自信をもってお勧めできるソリューションとなりました。本セッションではシステム構築までのステップと、Rosic×Amazon QuickSight の組み合わせが弊社ソリューションに与えた価値についてお話し致します。</p>
15:00 - 15:20	<p>Amazon CodeCatalyst で実現する SaaS 開発の加速 (L100) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 Solutions Architect 遠藤 宣嗣</p> <p>国内においても SaaS の利用者は伸び続けており多くのプロダクトが生まれています。成功している SaaS は成長モデルや俊敏性といった SaaS モデルが持つ本来の強みを意識しています。では開発者はどのようにそれを意識できるでしょうか。本セッションでは、Amazon CodeCatalyst を使うことで SaaS 開発をどう加速させることができるのか紹介します。</p>

SaaS on AWS 2023 - Day2 (SaaS Technology)

	会場2 (オンライン配信なし)
15:25 - 15:45	<p>Amazon CodeCatalyst への移行をやってみて感じた、現在の課題と将来の期待 (L200) ユニークビジョン株式会社 CTO 青柳 康平 氏</p> <p>ユニークビジョンではAmazon CodeCatalystへの移行を行っています。なぜAmazon CodeCatalystにしたのか、技術方針からの視点や、移行における現場の試行錯誤をお話します。</p> <ul style="list-style-type: none">・どうして移行しようとしているのか・どのような理由でAmazon CodeCatalystに移行を決めたか・ユニークビジョンの生産性向上への取り組みのために行っていることとの、・現在のAmazon CodeCatalystでは対応できないことと回避策・Amazon CodeCatalystのCI/CD TIPS・全面移行するためにAmazon CodeCatalystに期待すること
16:15 - 17:00	<p>SaaS 企業 CTO の LT 祭り テーマ「開発組織のカルチャー」</p> <p>株式会社アルファドライブ CTO 赤澤 剛 氏 株式会社カオナビ CTO 兼 CTO室長 松下 雅和 氏 パイオニア株式会社 常務執行役員 CTO、クロステクノロジーセンター長 岩田 和宏 氏 弥生株式会社 CTO 佐々木 淳志 氏</p>
17:15 - 18:00	<p>SaaS 企業 CTO の パネルディスカッション テーマ「開発組織のカルチャー」</p> <p><パネラー> 株式会社アルファドライブ CTO 赤澤 剛 氏 株式会社カオナビ CTO 兼 CTO室長 松下 雅和 氏 パイオニア株式会社 常務執行役員 CTO、クロステクノロジーセンター長 岩田 和宏 氏 弥生株式会社 CTO 佐々木 淳志 氏</p> <p><モデレーター> アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 ISV/SaaSソリューション本部 部長 上原 誠</p>